



千  
地  
申  
14  
号

## 「電気部門の変革2022」を通じて「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある電気職場を創る申し入れ 団体交渉を行う！③



9. 管理メンテナンスセンターについては、統廃合されるメンテナンスセンターから工事監督業務等を引き継ぐことから、業務量増加に見合った要員を増配置するとともに、決裁件数の増加に対応できるように管理者の体制を整えること。なお、特に成田メンテナンスセンターは担当線区が多岐にわたることから、信号・電力ともに一般社員を2名増配置すること。

【回答】業務に必要な要員は確保していく考えである。

【確認事項】

- ・管理メセでは、電力・信号ともに、木更津・成田メセに管理1名、一般1名を増配置する。
- ・管理メセでは、管理者を増員することで決裁件数の増加に対応できるものと考えている。
- ・成田メセでの更に1名の増員については考えていない。（対立）
- ・直轄社員による検査修繕時に見張員のみを部外能力活用するなど、見直し後の要員体制で運営できる体制を整えていく。

10. 千葉以東線区は踏切が多く、各踏切への道順および業務用自動車の駐車箇所の把握には熟練を要することから、管理メンテナンスセンター社員およびTEMS社員については、地理的条件を熟知した者を配置すること。

【回答】業務に必要な教育は実施していく考えである。

【確認事項】

- ・全員を「地理を熟知した社員」のみで固めることは困難だが、地理に詳しい社員も配置するよう努める考えである。

11. 千葉以東線区は倒木・倒竹のリスクが大きいことから、建築限界を支障させない対策を早急に実施するとともに、踏切の統廃合を推進することで、出勤回数を減少させること。

【回答】倒木・倒竹対策や踏切の統廃合は、引続き実施していく考えである。

【確認事項】

- ・香取-水郷間で倒木対策を行ってきた。今後も移管エリアを優先して進めていく。



12. TEMSへ移管したエリアにおける設備故障の初動対応はTEMSが行うことを基本とし、対応できない場合にJRが出動する体制とすること。

【回答】異常時にJR・パートナー会社間で職責を超えて一致協力し対応しており、本施策により、パートナー会社との水平分業をさらに進めていくが、職責を超えて一致協力していくことはかわらない。

【確認事項】

- ・移管エリアでの障害発生時は、基本はTEMSが出動する。
- ・原因不明なもの、原因は判明しているが大規模なもの、使用開始判定でJRの判断が必要なものについては、JRも出動する。

《例》原因不明でJRも出動するもの…軌道回路の継続落下等

原因が判明しTEMSのみで対応するもの…分岐器の異物撤去後の点検等

- ・JRも出動する場合は、発生現場への近さ等を勘案して臨機応変にその都度判断する。

《例》銚子エリアでの障害…銚子周辺在住者を呼び出す

成田エリアでの障害…成田々宿直者が出動（但しNEXルートの障害に即応できる範囲のみ）

※成田メセの宿直は、NEXルートの安全・安定輸送を目的としているため、NEXルートから大きく離れた発生現場には行きづらい。

